へ13
3689
3

門へ13
號 3689
巻 3

玉花七變化三稿

ユヽ老□□

鶴亭秀賀作
歌川國貞畫
金松豈壽梓
辛酉春彫

北豊画

同家壽

二

高麗國

開化猫の我皇國へ渉しる人皇六十六代一条院の御宇ゆそめく。高麗國より貢献所ゆしく帝叡慮ゆ叶ふの余猫ゆ命婦の官と賜ふゆ夫より江湖ゆ專是を愛し。田夫養ひ稻穀を守しる山妻籠しく十二時を辨じ雖而或い是を蒙貴と異称し。其性狎早く志ゆ速ゆ。三年是を飼ふ。一度去ゆ二度其主を不省。年と経るゆ至て能怪を傲とり。今や其變化の怪傳も。茲ゆ三輯稿脱しゆ。彼猫の尻尾と草帝の緒言。有くゆ不用無とも不辨。故ゆ些少筆走しく。端書らくも撥舟ゆ。

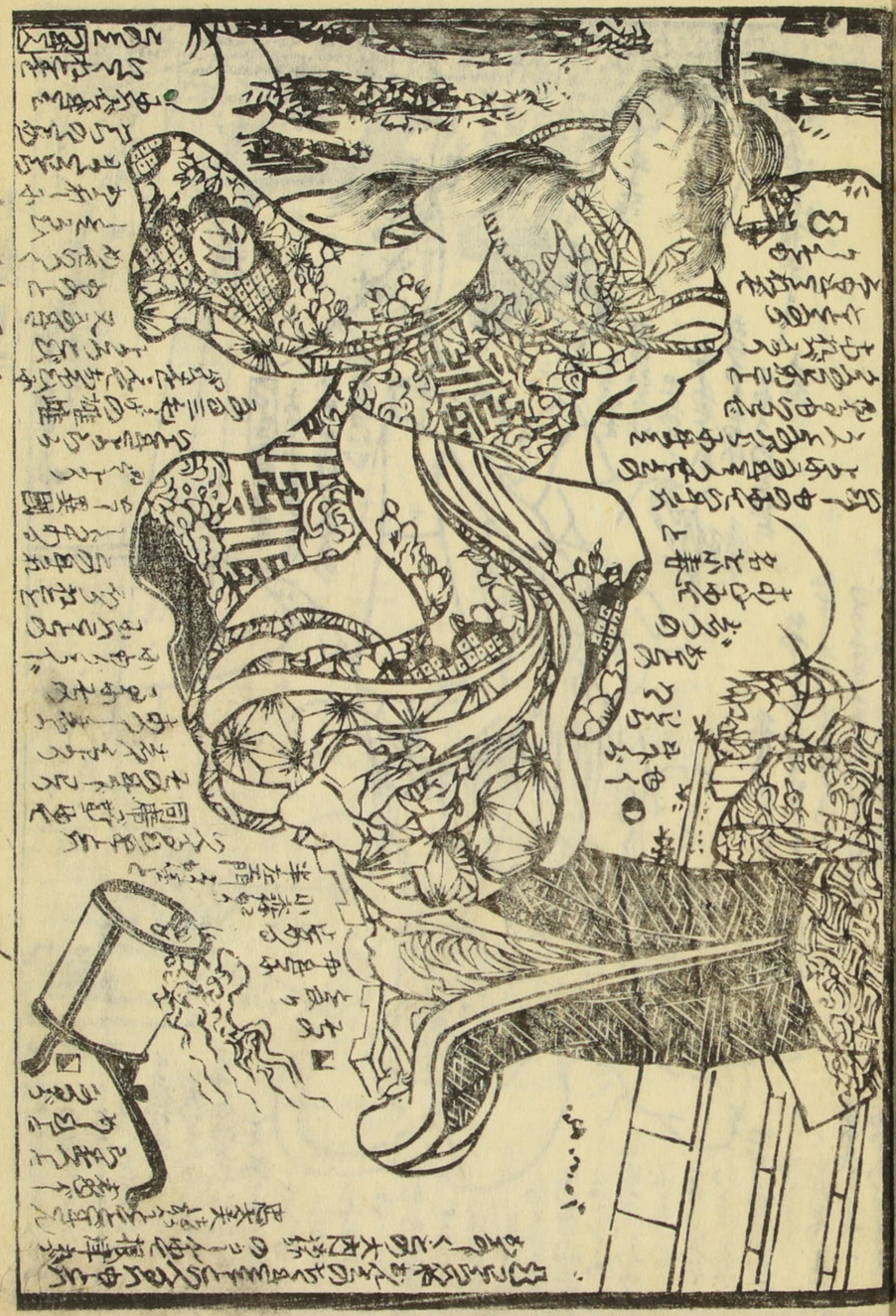
萬延辛酉春

鶴亭秀賀識

玄湖書

川上民部の妹
萩咲
是忠大夫の妻
大内家の近習頭
根津忠大夫
政賢
謬り妊猫を殺す
大内家の近習頭
小森半左衛門晴宗
猫を愛して禍を子孫に残す
其怨念の為に
家を亡し
身を苦しめ
妻子を失ふ

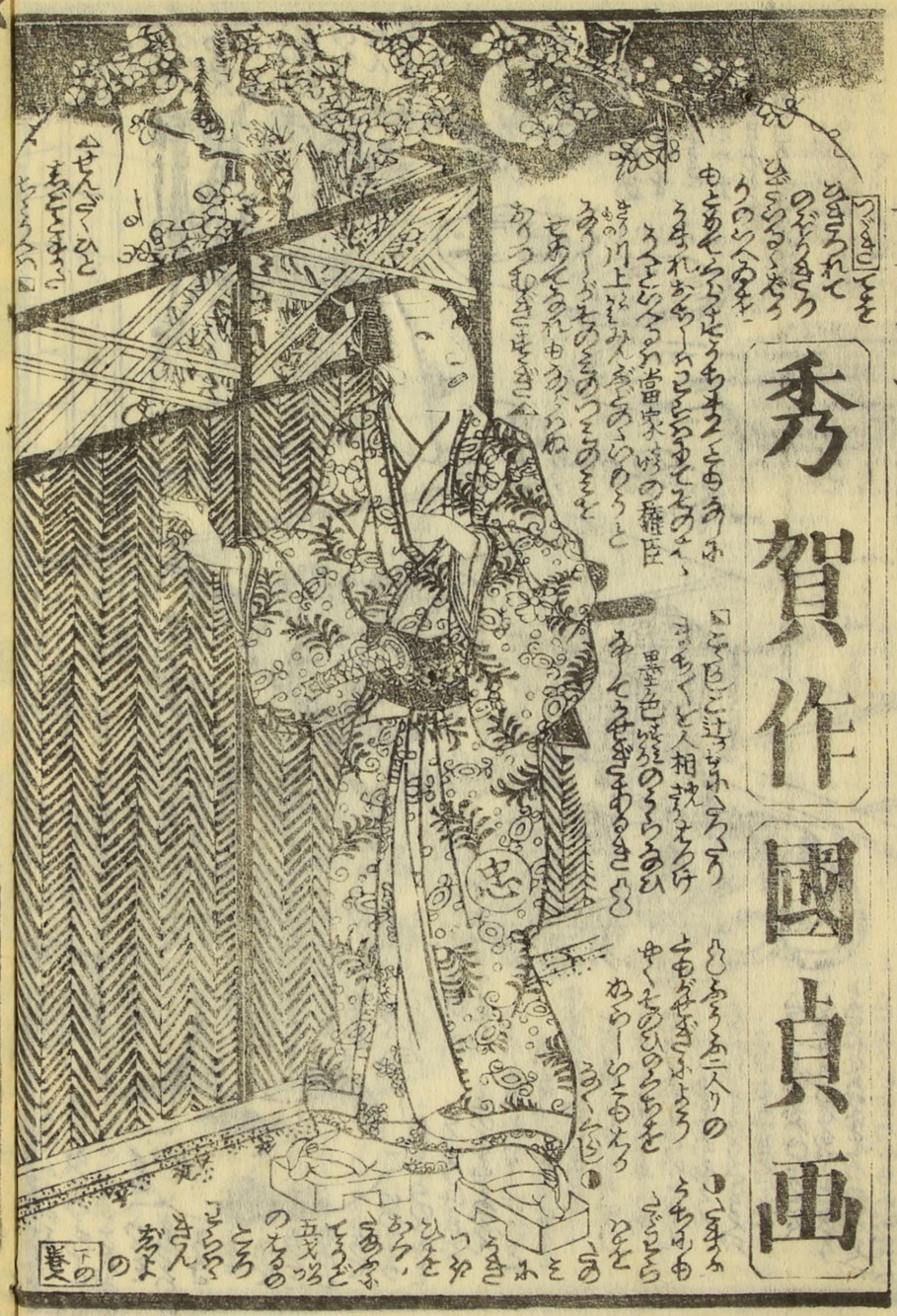
難波阿四郎の
舎弟
漂之亟
玉猫の寺役初瀬
実は
根津忠大夫の娘
小菊



小春の霊

六丁の過去
小春の物語

秀賀作　國貞画



萬延二辛酉年新版目次

初　萬水春作
二　梅蝶樓國貞画　色表紙曽我物語

初　楽亭西馬作
二　佐崎名郷音武術譽
三　同　画　宮本

初　柳水亭樓青作
二　青山國郷画　三世相錦繍文章

初　柳亭種丈作
二　一恵齋芳義画　蝶鳥裙野白平司丹

初　鶴亭秀賀作
二　梅蝶樓國貞画　金花七變化
三

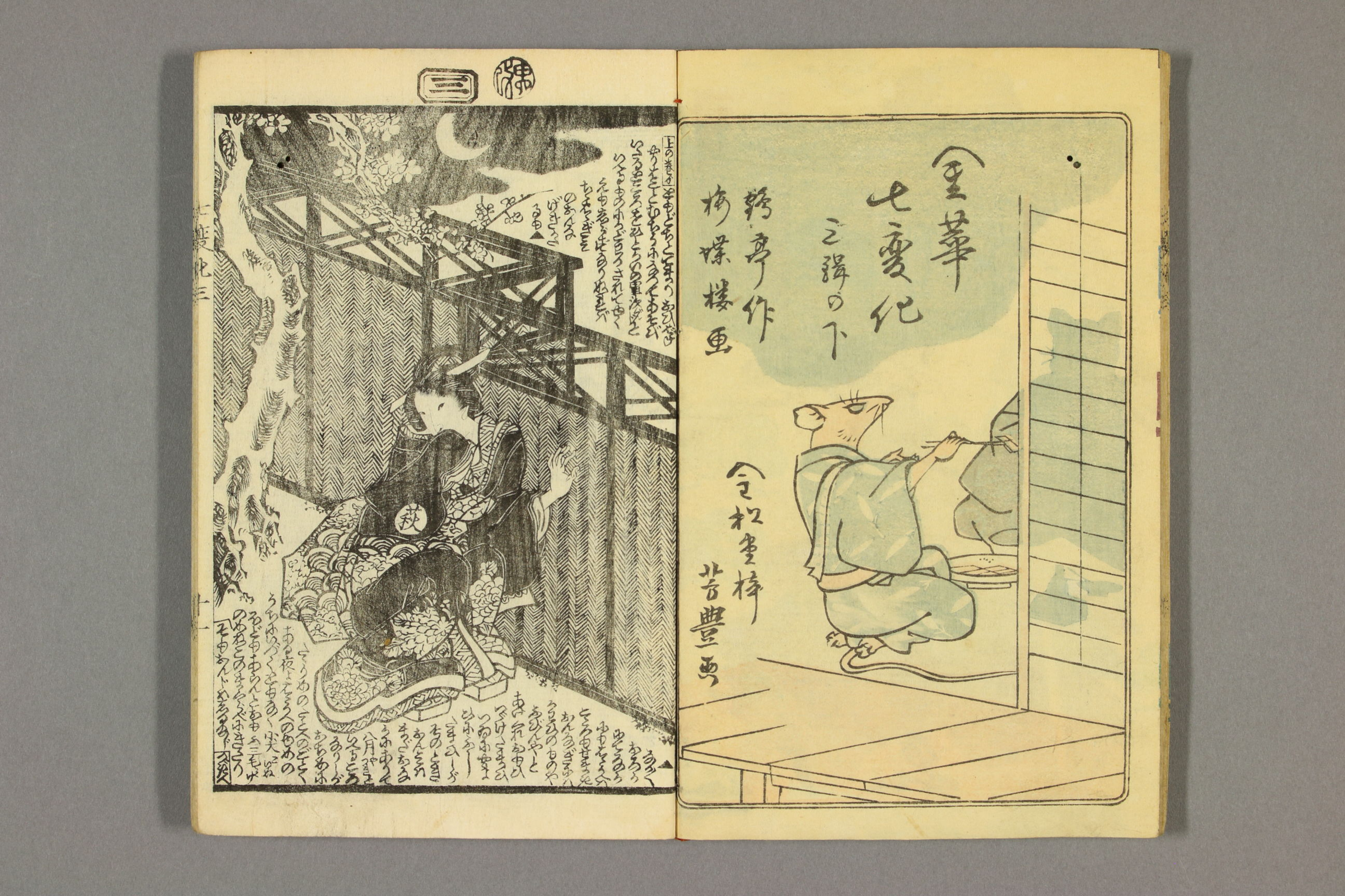
武蔵膏　大貫百疋　小貫二十銅　中貫四十八銅　飯島喜三郎遠制表

袖仙丸　調合所　上総國東金町　大野傳兵衛

地本　江戸横山町三丁目　辻岡屋文助　金松堂

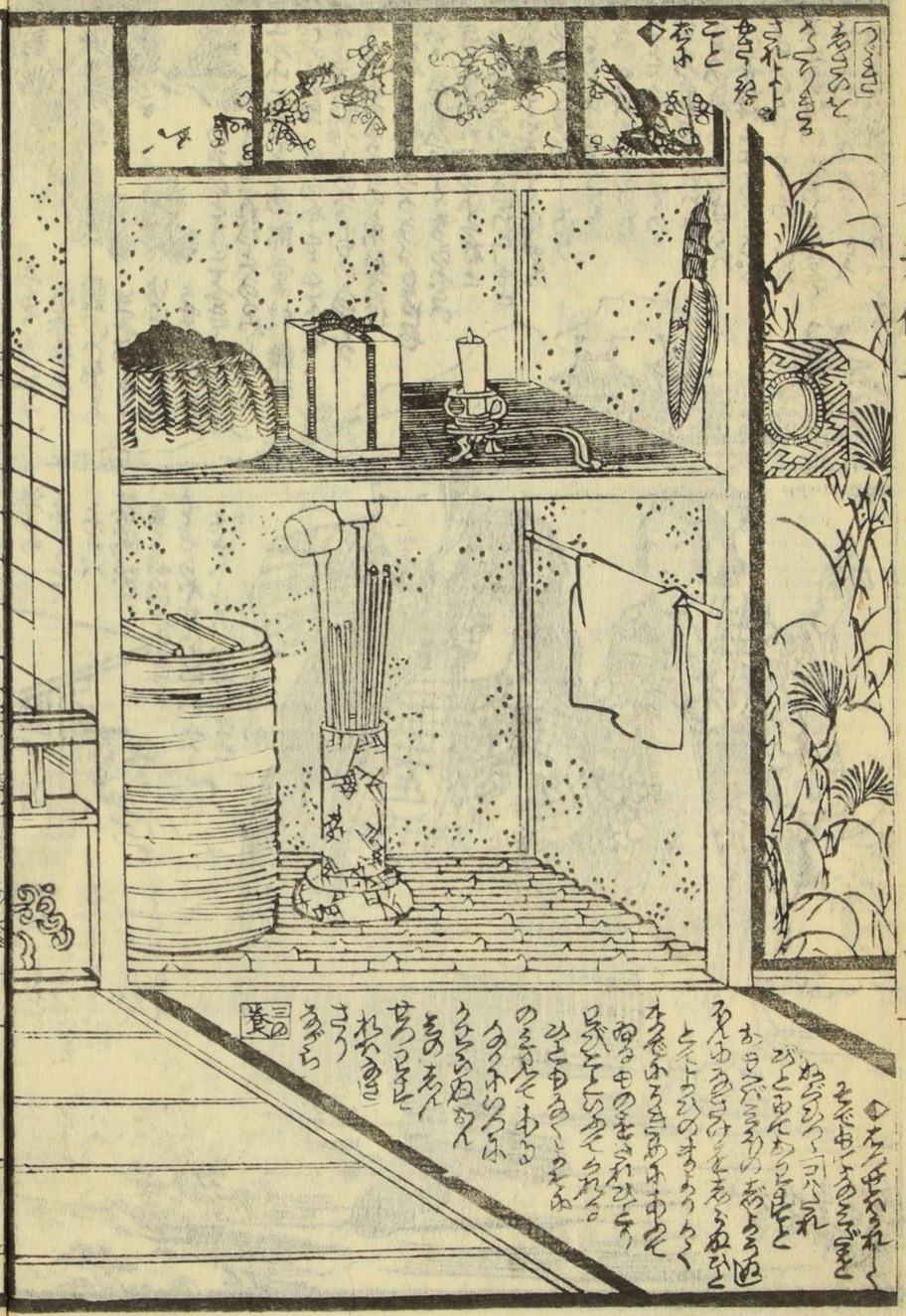
鶴亭秀賀作
歌川國貞画

芝の下

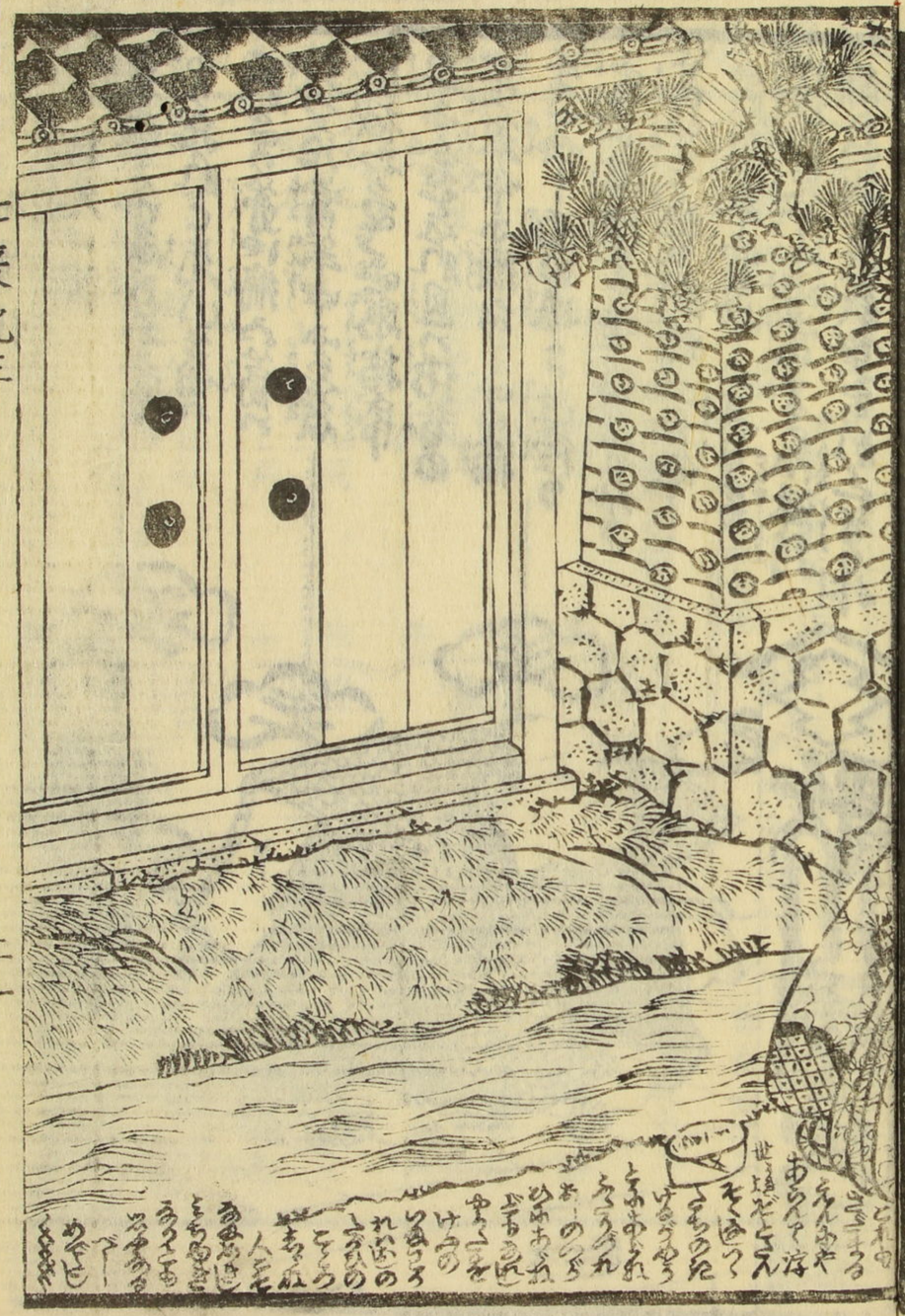

金華
七変化
二編の下
鶴亭作
梅蝶楼画
金松堂梓
芳豊画
萩

鹿安多里
重金昌

當座帳
大福帳
入給帳



阿
阿



扨元の演

東西々々此名物をうつしのり出れと先は筆ハ
元ぎつの筆に編へ筆ハ
引つゝた當年中ふ名成
星祝わつ色ゝ世勝相成
ふ金ゝ元れ旦ハ俗者の
一生懸命ふ溺ゝ
ゝ猫
ゝ中一面白壽ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

萬延二辛酉年春新板目録

柳幕魁双紙　為永瓢長作　一寿齊國貞画

金澗水升石川　花笠文京作　一勇齊國芳画

都鳥汀松若　柳水亭種清作　一松齊芳宗画

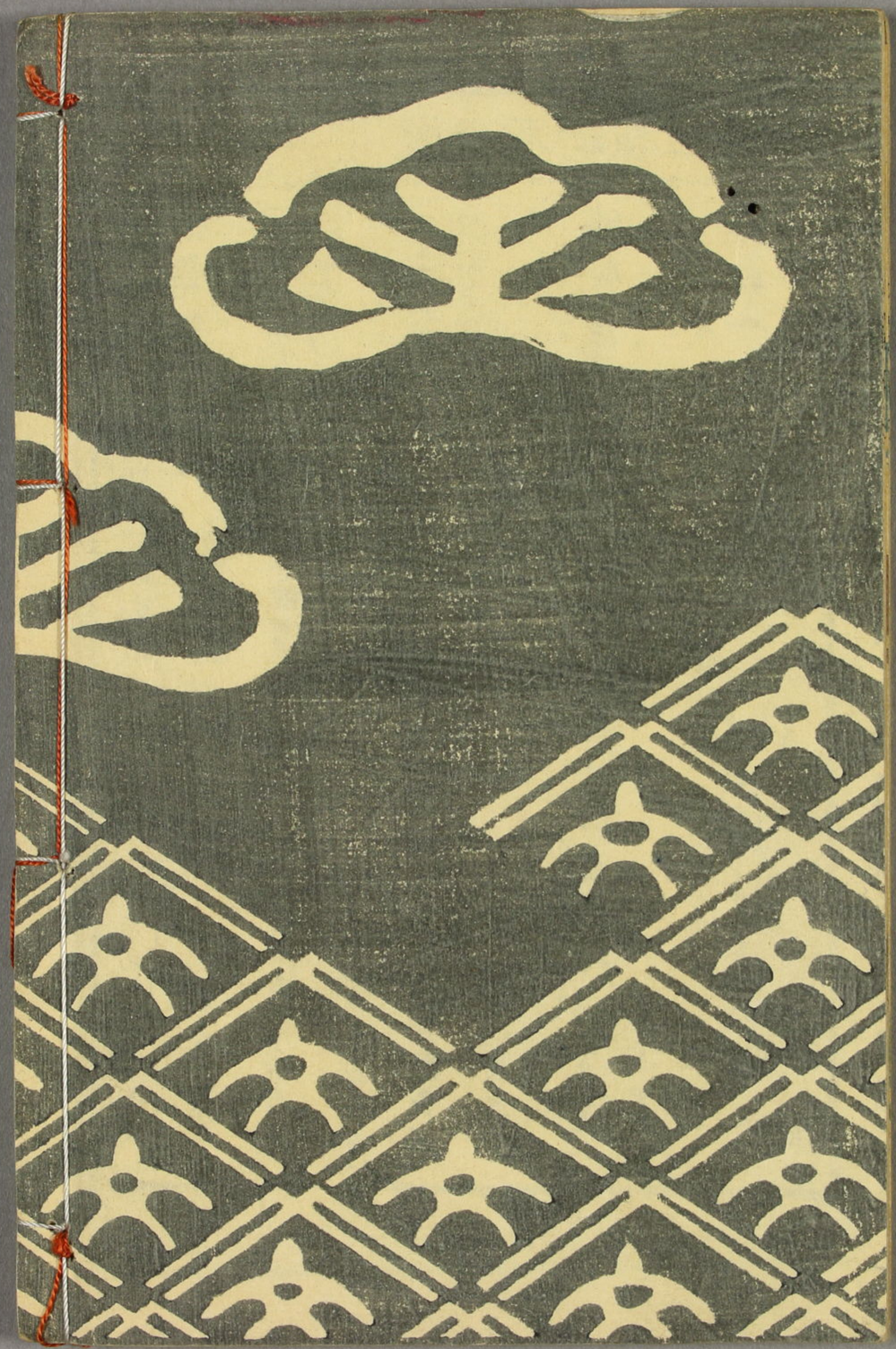
縁綱詞花　半文字英寿作　一松齊芳宗画

初紅葉小倉色紙　為永瓢長作　歌川國盛画

當利生一網　為永瓢長作　歌川國盛画

蝶衛亀山染　為永千童作　一寿齊國貞画

濡衣女鳴神　為永千童作　一寿齊國貞画

義経千本櫻　為永千童作　一寿齊國貞画

地本紙問屋　江戸両國横山町三丁目　辻岡屋文助　金松堂